



今年で58回を迎える聖高祭が9月2日(火)、3日(水)両日にわたくつて行われました。お盆明けの約2週間、午後の時間帯を使い、生徒、教員が一丸となつて準備を行いました。

2日の文化祭では、ステージにおいて各部の発表や1年合唱コンクールなどが行われ、校舎外では仮装行列、団お店、校舎内では各部・各学年の展示発表がありました。

3日の体育祭では青、赤、黒の3団に分かれ、運動競技を初め、応援、アトラクション、パネルのできばえを競い合いました。3年生が中心となつて団をまとめ、生徒それぞれの役割の中ですばらしいパフォーマンスを見てくれました。



## 退任のご挨拶

大聖寺高校同窓会 前会長

天日 喜代治  
(昭和46年卒)

去る平成26年8月の同窓会総会において、次期会長として長岡義明副会長をご推挙申し上げ、ご承認をいただきました。誠にありがとうございました。長岡新会長には会のさらなる発展のためにご尽力をお願い申し上げます。

思えば、平成23年8月より下口幸雄前会長より会長という大役を引き継ぎ3年間、会員の皆様、先生方のご協力をいただき、お陰様でなんとか努めることができました。厚くお礼申しあげます。

その間に、同窓会は第一に会員の親睦をはかることであります。より多くそして若い人们も参加してもらうために、まず、長らく続けてきた総会の形式を変えさせて頂きました。若い同窓生に順に幹事をしてもらい参加する年代を繋いでいく形にしました。ただ、30～40歳代の方々とは連絡も難しいため、西出隆則前校長先生をはじめ学校のご協力で若い人たちの参加を後押ししていただきました。まだまだ十分とは言えませんが、新会長の下、これからもこの形に工夫を加えながらよりよい総会にされていくと思つております。

編集委員会を立ち上げリニューアル会報をなんとか間に合わせることが出来ました。委員の皆様のご苦労に感謝いたします。ホームページもリニューアル致しましたが、同窓生のご参加、ご意見がよりよいものを作り出すと思つております。よろしくお願ひ申し上げます。

各地の聖高会も共通の悩みは次世代へいかに繋ぐかということです。本部もそのことが重要事であります。しかし各聖高会の皆様が熱い思いで参加されているのを見出し、聖高会がいつまでも続いていくことを確信しております。私も一員としてこれからも協力していく所存です。

最後に、同窓生の皆様の益々のご健勝と母校の発展を願い、退任のご挨拶と致します。

100年を超える歴史と伝統と職責の重さにいまさらながら身の引き締まる思いがしております。

前会長の天日氏は本校100周年の記念事業を終えた後、会長に就任され3年間、同窓会発展の為に尽力されました。財政的にきびしい中、各事業を積極的に進めてまいりました。そして今年、会報委員会を立ち上げ「聖流」と名を改めたすばらしい同窓会報を作り上げました。そのたぐいまれな指導力には敬服する所であります。心よりお疲れ様でしたと拍手を贈らせていただきたいと思います。

今、同窓会が抱えております一番の課題は理事会の活性化であります。開催方法について、日時や内容、理事の皆様への案内等、これから各地区聖高会と連携を取り合いながら又、役員が一丸となってこの問題に取り組んで行きたいと思っています。理事会が活性化すれば、総会参加者もおのずと増えるものと思われます。諸先輩の皆様方にもさらなるご指導を頂くと共にこれからもより一層のご協力ををお願い申し上げます。

そして若いメンバーの力も必要です。

活動に参加して頂き同窓会を活気付けてもらいたいと願っています。

同窓の皆様には今後共、なにとぞ多大なご支援ご指導をお願い申し上げましてご挨拶とさせて頂きます。

また会報の刷新にも着手いたしました。会報にいまさらながら身の引き締まる思いがしております。

100年を超える歴史と伝統と職責の重さにいまさらながら身の引き締まる思いがしております。

前会長の天日氏は本校100周年の記念事業を終えた後、会長に就任され3年間、同窓会発展の為に尽力されました。財政的にきびしい中、各事業を積極的に進めてまいりました。そして今年、会報委員会を立ち上げ「聖流」と名を改めたすばらしい同窓会報を作り上げました。そのたぐいまれな指導力には敬服する所であります。心よりお疲れ様でしたと拍手を贈らせていただきたいと思います。

今、同窓会が抱えております一番の課題は理事会の活性化であります。開催方法について、日時や内容、理事の皆様への案内等、これから各地区聖高会と連携を取り合いながら又、役員が一丸となつてこの問題に取り組んで行きたいと思っています。理事会が活性化すれば、総会参加者もおのずと増えるものと思われます。諸先輩の皆様方にもさらなるご指導を頂くと共にこれからもより一層のご協力ををお願い申し上げます。

そして若いメンバーの力も必要です。

活動に参加して頂き同窓会を活気付けてもらいたいと願っています。

同窓の皆様には今後共、なにとぞ多大なご支援ご指導をお願い申し上げましてご挨拶とさせて頂きます。

石川県立大聖寺高等学校同窓会 事務局

〒922-8510 石川県加賀市大聖寺永町33-1 (鴻志館内)

TEL (0761)73-2771 FAX (0761)75-7117

月～金曜日 (水曜日 休) 10:00～16:45

E-mail : info@seiko-ob.org 学校 TEL (0761)72-0054

大聖寺高校  
同窓会の  
ホームページが  
できました

<http://seiko-ob.org>

どうぞご覧下さい。

大聖寺高校 同窓会

検索

# 平成26年度 総会・懇親会開催



▲挨拶をする天日会長



▲懇親会 風景

8月9日(土)午後5時30分より、長生殿（加賀温泉駅前）にて東京聖高会会長の堀勉氏（昭37卒）、近畿聖高会会長の中西道彦氏（昭35卒）、小松聖高会代表の浅野清利氏（昭46卒）の出席を賜り、約60名の参加を得て総会および懇親会が開催されました。

総会では平成25年度事業経過報告および一般会計決算報告、平成26年度事業計画案および一般会計予算案が承認され、新会長として長岡義明氏（昭和42卒）が承認されました。

懇親会では、岩城博之さん（平成9卒）主催のOTOSoundによる和太鼓演奏と中井恵子さん（昭和45卒）による南京玉すだれの披露で場が一気に盛り上りました。

旧交を温めたり、恩師と挨拶を交わしたり楽しい一時を過ごし、最後に校歌、応援歌を歌い、再会を期して散会となりました。（会計報告・予算案等はホームページでご確認いただけます）

## 参加者の声

### 平成10年卒 阿部 未知（旧姓 東野）

私はこの聖高同窓会・懇親会に出席するようになり3年になります。初めて参加した年は、前校長である西出先生が、若い世代にもたくさん参加して欲しいとの思いで同世代の幹事の皆さんや先輩方に広く声をおかけになった時でした。その時の電話で出席しますとお返事した後も、当日を迎えるまで敷居が高いように感じ、場違いなのではないかと緊張していました。

当日会場に向かうと懐かしい顔が並び、お世話になつた先生方にもお会いできて、高校時代を思い出しながら話が弾み、あつという間に時間が過ぎました。また、違う学年の方ともこの場でお会いでき、お話しできる楽しみがありました。今年で3回目の出席でしたが、いろんなお話を聞く中で、幹事でないと参加しないものだと思ってる方や、幹事ではないから参加しにくいという方も多いといふことをお聞きしました。幹事ではない方も多くて、幹事ではありません。幹事ではない方も多くて、幹事ではない方が多いといふことがあります。



▲皆で校歌・応援歌の合唱



▲OTOSound の皆さん

## 来年度の幹事の方々（敬称略）

平成27年度総会は、左記の方々を中心にお運営をお願いすることになります。  
この方々より、参加依頼がございましたら、ぜひご協力下さい。

### 主幹事 平成11年卒

前川 賢真	佐分奈緒子	村上 岳宏
前田 志津	中出 智丈	島野麻由子
郷原 正信	河嶋由佳子	中澤 彰
石田 幸子	桂田 武治	山崎 昌美
東 亜津 千春	清田 範子	河野 裕治

### 副幹事 平成12年卒

菅村 洋平	中田 知里	濱谷 敏之
大田 亜弥	渡部 勇気	山崎 香織
春木 伸彦	鮎池亜朱美	平石誠太郎
藤澤 美里	澤田 喜郎	堂坂 沙織
瀧田 昌弘	吉田 美穂	北出 一成
橋出 千春		

### 副幹事 平成13年卒

小荒 善宣	山谷綾希子	駒谷 肇
西山 夏希	前田 雄生	後藤 直美
古宅 亮一	藤山さやか	下口 恭平
空 祐美子	中川 始	橋本 恵
川端 淳也	北野 那美	増山 隆宏
荒川 裕子		

※お名前は卒業時の名前で表記しています。

※事前連絡をお送りしていますが、まだお手許に届いていない場合はご容赦下さい。

# 東京・近畿聖高会報告

## 東京聖高会 総会・懇親会開催

## 近畿聖高会 総会・懇親会開催

7月5日、長岡義明 同窓会長、天日喜代治 前同窓会長、鈴村一恵 校長、鴻埜伸一 事務局長と共に私 佐々木和彦が東京聖高会の総会に参加させて頂きました。

ホテルマリナーズコート東京の総会会場には、諸先輩方による絵画・書・写真等の作品が展示されており、その出来栄えの素晴らしさ、造詣の深さに感服するとともに愉しませていただきました。総会終了後の懇親会で諸先輩方とお話をさせていただき、関東の経済界や行政、芸術、各専門分野等々で幅広くご活躍されていることに改めて尊敬の念を抱きました。

東京聖高会が果してきた役割に思いを馳せると、絆の深さを守り育んできた歴代役員の方々、会員の皆様の努力の賜物と拝察致します。東京聖高会のさらなる発展と先輩各位のご活躍、ご健勝をお祈り申し上げます。



▲総会風景



▲挨拶をする堀会長



▲コーラス部のリードで校歌斎唱

本部からは長岡義明 同窓会長、天日喜代治 前同窓会長、鈴村一恵 校長、佐々木和彦 副会長、鴻埜伸一 事務局長の5名が出席しました。

第1部の総会では定例の報告の後、新役員の選出について議題が出され、新しい役員の選出に向けて動き出しました。第2部の卓話では日本バドミントン協会理事で、NHKの解説をされた錢谷欽治氏（昭46卒）より「ロンドンオリンピックの裏話」と題して、当事者ならではの興味深い話を聞くことができました。第3部の懇親会は校歌斎唱に始まり、カラオケやクジ引きで楽しい一時を過ごすことができました。



▲長岡同窓会会長

▲中西近畿聖高会会長



▲卓話をされる Mizoguchi 氏



▲校歌斎唱

11月1日(土)に新図書館2階多目的ホールにて、同窓会主催の英語暗唱大会が開催されました。来賓として、加賀市教育委員会事務局教育次長兼学校指導課長 網谷豊氏、加賀ライオンズクラブ会長 橋川正一氏、山中ロータリークラブ会長 石川光良氏をお迎えし、6中学の代表24名が参加して行われました。出場者の皆さんがそれまでの練習の成果を發揮し、レベルの高いパフォーマンスを見せてくれました。上位入賞者は左記の方々です。

1年の部	2年の部	3年の部
1位 吉田帆乃(橋立)	1位 中嶋いちの(山代)	1位 澤崎太一(山中)
2位 林美唯(山代)	2位 寺田隼大(山中)	2位 大見菜月(錦城)
	3位 角屋黎(山代)	3位 黎(山代)



▲来賓の方と記念撮影



▲発表のようす

英語暗唱大会を終えて――山中中学校3年 澤崎・太一

僕は2年生と3年生の2回連続でこの大会に出場しました。この大会で学んだことは「表情の大切さ」です。顔の表情には笑顔、悲しい顔、怒った顔などたくさんあります。顔の表情は人の心情をよく表すものなので、暗唱大会では登場人物の心情を考え、表情豊かに表現する練習に入れました。このおかげで本番後、たくさんの方から物語の内容が解りやすかつたという言葉をいただきとてもうれしかったです。

自分の気持ちを表情で相手に伝えること、相手の気持ちを表情から考えコミュニケーションを取ることの大切さを、この英語暗唱大会を通じて学ぶことができました。

第66回

南加賀地区

中学校英語暗唱大会

# 同窓会だより



還暦同窓会を終えて

昭和48年卒 幹事団代表 石橋 雅之

昭和48年卒業生の同窓会が、平成26年6月28日に、片山津温泉ホテルアローレで開催されました。21年ぶりということや、還暦を迎えたということもあり、受付を終えると皆が口々に「誰やつたつけ?」の後、「おーっ、ひさしぶり」と互いに声を掛け合っていました。

参加者は、恩師が吉田樹生先生お一人で、ちょっと寂しかったのですが、同窓生は総勢105名が出席し、旧交を温めています。

物故者への黙とうの後、幹事団代表の挨拶と記念写真撮影、恩師の乾杯の発声で開宴となり、卒業アルバムのスライドショーやビンゴゲーム等で、大変盛り上りました。

最後は、当時の生徒会長の中締めとなり、用意された二次会場へと向かいました。

還暦という節目を迎える2の人生をいかに有意義に過ごすかが、出席者一同にとって大きなテーマとなりました。2次会終了後は、いつにならぬ健康に留意して再会を期しながらの散会となりました。



昭和48年卒業生の同窓会が、平成26年6月28日に、片山津温泉ホテルアローレにて開催されました。21年ぶりということや、還暦を迎えたということもあり、受付を終ると皆が口々に「誰やつたつけ?」の後、「おーっ、ひさしぶり」と互いに声を掛け合っています。

幸山洋一先生・沢野唯志先生・平松静代先生・村中敬先生（五十音順）にご出席頂き、同窓生も南は長崎から北は北海道稚内まで、70名近い参加となりました。

同窓生による校歌斎唱等、終始にぎやかな同窓会でした。伴奏による校歌斎唱等、終始にぎやかな同窓会でした。2次会も相当数の参加となり、懐かしい再会に夜が更けても話は尽きず、3次会へ繰り出したり、ホールでもずっと語り合いながらメアド交換や写メを撮る姿が見られました。

その後も、この同窓会がきっかけとなり、関東支部・関西女子会・クラス会・LINEやFacebookの同窓会サイト等交流の輪が広がっているようです。

こうして輪がどんどん広がることで、次の同窓会へとさらに繋がりができます。

同窓会立ち上げから1年半という準備期間の中、何度も幹事会を開き企画検討してきました

2の人生をいかに有意義に過ごすかが、出席者一同にとって大きなテーマとなりました。2次会終了後は、いつにならぬ健康に留意して再会を期しながらの散会となりました。

## 聖高第36回（昭和59年卒）同窓会

昭和59年卒 幹事一同

幹事一同感謝の気持ちでいっぱいです。この場をお借りしてお礼申し上げます！

平成26年8月16日 片山津温泉ホテルアローレにて同窓会を行いました。卒業から早や30年、学年全体としての同窓会は、前回から10年ぶり2回目の開催となります。

「55同窓会」  
昭和53年卒 幹事  
去る8月9日の聖高同窓会総会の懇親会で、昭和48年卒の先輩方と同じテーブルになりました。そこで6月に還暦同窓会をしたと伺い、私たちも近々やろうという話になりました。

まず、同窓会事務局へ相談に行き、名簿作成や恩師の連絡先などいろいろ教えて頂きました。今年55歳になるのに因んで「55同窓会」と銘打ち、立ち上げから3ヶ月。11月15日、無事開催にこぎつけました。遠方から駆けつけてくれた人も何人もいて、住所の分かった270名のうち90名の参加を得ることが出来ました。

前回から15年ぶりということもあり、すぐには名前の思い出せない人も、宴が進むうち昔の面影がその顔に浮かんできました。確かに年をとつたはずなのに「ああ、ちつとも変わらないなあ。」と思えてくるのが不思議でした。会場には再会を喜び合う笑顔と笑い声があふれ、それを眺めながら「同窓会つていいなあ。やつて良かつた。」と達成感が湧いてきました。楽しい時間はまたたく間に過ぎ、5年後の還暦にまた集まろうと約束して、会場のホテルを後にしました。

昭和53年卒 幹事  
片山津温泉ホテルアローレにて同窓会を行いました。卒業から早や30年、学年全体としての同窓会は、前回から10年ぶり2回目の開催となります。



